

下総基地へ要請行動！！

「やっぱりウルサイP-1 飛行騒音」& 「下総基地のPFAS 汚染の原因究明を」

下総基地は対潜哨戒機P3C（後継機がジェットエンジンのP-1）の教育訓練基地ですが、輸送機C-1 やC-2 そして木更津基地の第一ヘリコプター団のヘリなどが飛来しています。P3CからP-1 への切り替えが行われていますが住民からは「うるさくなった」との声が出ています。ピースサイクルで7月11 日下総基地を訪れ申し入れをしました。

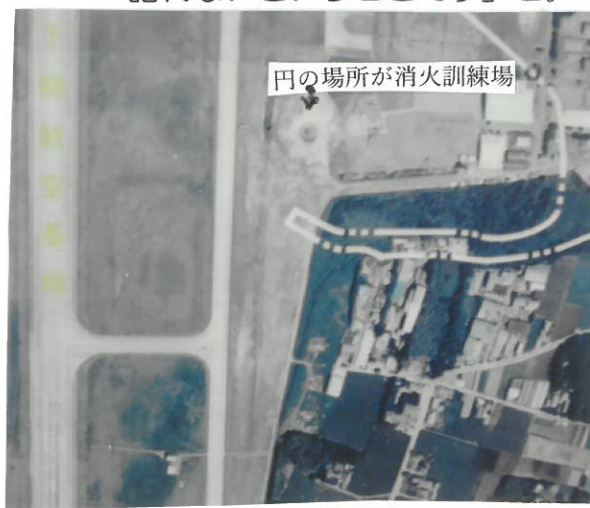


PFAS 問題

今回は昨年からの調査で下総基地周辺の河川や井戸水のPFOS・PFOAの汚染と下総基地との関係性が一定程度明らかになったことについて因果関係の徹底解明と汚染除去を要請しました。

基地からの回答は「PFASはいろいろなものに使われてきているし、下総基地との関係で確固たることは語れない」「周辺自治体の要望に協力している」「今、基地内排水口の4500ng/ℓ・1700ng/ℓ・100ng/ℓのPFOS&PFOA濃度を低減化させることを実施しようとしている」と。

市民からの「因果関係を語れないというのは“関係ない”ということですか？」との問いに対しては「関係ないと言っているのではない。・・・確固たるものと語れないということです」と。



消火訓練場もあり、過去にPFOS・PFOA・PFHXS含有の泡消火剤を使った訓練（基地は資料がないから分らないと言ってるが）も行われていた蓋然性が高いのですから、原因が・因果関係が分らないというならその原因究明をきっちりとすべきです。そのためにも基地内の地下水・帯水層・土壌の調査をすべきなのです。（まさか4500ng/ℓのPFOSが天から下総基地内に降ってきたわけではないでしょうから）

P-1 の騒音・ウルサイ

対潜哨戒機P3Cは後継機P-1 に暫時変わっていく状況です（今は両機併用）。交渉当日頭上をP-1 が数機飛びたちジェット音をまき散らしました。基地の

方に「今の音うるさくないですか？」と聞くと「離陸時なので大きいのです」との答え。

市民からは「防衛省は以前 P3C よりうるさくないですと説明していましたが周辺住民は P-1 になってからうるさくてびっくりして空を見上げています」「滑走路線上の直下の地域では離陸時・着陸時にやっぱりウルサイのです」「飛行時間等騒音対策としての対策をとってください」と要望しました。



又、P-1 について会計検査院の調査で 2023 年度までに 1 兆 7766 億円支払われたが 35 機の P-1 に“エンジントラブル・電子計算機の不具合・交換部品の調達遅れ”などで「可動状態が低調」と改善の必要性を指摘されています。市民からも川崎重工により開発された純国産の哨戒機ですが安全性はきちんと確保されているのかと心配の声も上がりました。

オスプレイはいらない



木更津基地に暫定配備されている陸自のオスプレイ 17 機が順次佐賀空港のほうに移ることとなりましたが、でも木更津基地はオスプレイの整備拠点ですから常時オスプレイが駐留しています。

下総基地は「具体的にオスプレイ配備の予定はない」と言っていますが、各地の基地で緊急時着陸などもされています。

参加した市民は「絶対にオスプレイを下総基地に飛来させないで下さい」と強くオスプレイ飛来拒否の意思を伝えました。

下総基地での米軍艦載機のNLP（夜間離着陸訓練）絶対反対

NLP 絶対反対も強く訴えました。

厚木基地から岩国基地へ艦載機は移駐し、その訓練場所として今馬毛島で基地が作られています。米空母の母港は横須賀です。横須賀に入港した後の艦載機にとって一番近いのは厚木基地です。下総基地も近い場所にあります。

下総基地はジェット機も飛べる 2250m の滑走路でかつては艦載機 NLP の候補地に挙がったのです。周辺自治体（6 市 2 町）の市長（町長）・議会・自治会・市民が反対してこさせていないのです。どんな理由であれ絶対に米艦載機の下総基地使用には反対していきましょう。